

政策提言書

基盤整備委員会

水道管の早期耐震化とGIS（地理情報管理システム）の導入について

提言内容

1. 地震などの自然災害、水質事故等の非常事態において、基幹的な水道施設の安全性の確保や、重要施設への給水確保、また生命や生活のための安全な水の確保が求められています。
水道施設の早期耐震化の推進と、効果的かつ効率的に耐震化を進めるためにも、諸計画とは別途の「水道施設耐震化計画」の早急な策定を行うこと。
2. 合併以降、49箇所もの水道事業が点在しており、この多くの事業を、平成26年度までに財政状況の明確化、運営基盤の安定化による健全な事業運営の持続、給水の安定化を図るために現在、統合計画を進めています。
日本一広い市域の中、未だ紙ベースでの管理状況であります。
住民意識の向上と生活様式の多様化また、水道に対する価値観も高まっており、今後、水道施設を適切に管理していくためには、よりきめ細かな配慮と、迅速かつ正確で効率的な維持管理が求められています。維持管理の強力なツールとして、現在市内導入のGISを活用した「水道施設情報管理システム」の導入を行うこと。